

2025年の幕が明けました。去年は皆さまと一緒に、数々のご意見ご要望を実現することができました。本年も全力で皆さまの声を県政に届けてまいります！

今号は令和6年第3回定例会（9月～12月）の内容を中心にご報告します。



令和6年9月一般質問

一般
質問
から

安心して搾乳ができる 環境づくり

一般質問の動画は
こちらから
ご覧いただけます



入院中の赤ちゃんのために、定期的に母乳を搾る「搾乳」を行うリトルベビーのママたちや、産後に職場復帰する女性にとって、安心して搾乳できる場所の確保や周囲の理解が大切です。そこで、授乳室で搾乳しやすい工夫や、職場等で安心して搾乳できる環境づくりに取り組むべきと提言しました。

知事答弁 県有施設の授乳室に搾乳にも利用できる旨の表示と分かりやすいシンボルマーク等も作成したい。また、市町村や商業施設等にも、搾乳の表示を呼び掛け、県民の理解が広がるよう、ホームページやSNS等で発信していく。さらに企業へのメールマガジン等で周知啓発し、出産後の女性が安心して仕事と子育てができる環境づくりに取り組んでいく。



さらにその後

県独自のシンボルマークが出来ました！国会でも取り上げられ、神奈川県発の取り組みが全国に広がっています！！

一般
質問
から

運転免許学科試験における 発達障がい者への合理的配慮を

一般質問の動画は
こちらから
ご覧いただけます



発達障がいのある方から、教習所で特性を理解した対応をしてもらえず取得を断念した、学科試験で合理的配慮が得られずに何度も受験した、との声が寄せられました。そこで、県免許センターでの受験者への合理的配慮の提供状況について質問し、あわせて、障がい者が受験しやすいよう学科試験へのタブレット導入を提言しました。

警察本部長答弁 受験に不安を感じている障がい者が、相談できる運転免許センターの安全運転相談窓口を周知するため、新たにホームページに掲載していく。また、免許取得に際しては、教習所や支援機関等と連携し、受験方法等について個別の相談に丁寧に応じていく。タブレット端末の導入は、当時者の要望内容や先行県の状況等を踏まえて、可能性を検討していく。



さらにその後

早速、神奈川県警のホームページに掲載されました！12月には公明党が橋渡し役となり、意見交換会を実施。神奈川県警や支援団体、当事者の皆さんと共に引き続き取り組んでいきます！

おだ幸子プロフィール

藤沢市辻堂東海岸在住／2023年神奈川県議会議員選挙初当選／中小企業診断士／MOT(技術経営修士)／防災士／明治大学政治経済学部・日本工業大学専門職大学院卒業／大手損害保険会社に総合職として29年勤務／家族は夫と息子／趣味は読書・ドライブ／議会所属委員会：議会運営委員会・産業労働常任委員会・共生社会特別委員会・予算委員会

みなさまの声をお寄せください

【連絡先】神奈川県議会公明党控室
☎045-210-7630 おだ幸子
<https://lit.link/odasatiko>

HP・SNSはこちらから▶



フリースクール等に通う子どもたちへの支援

学校に馴染めず、生きづらさを抱える子どもたちに多様な学びの場や居場所を確保するため、これまでフリースクール等に通う不登校児童の支援体制の整備を訴えてきました。あらためて、こうした子どもたちへの支援に、どう取り組んでいくか知事に質問しました。

知事答弁 フリースクール等は、子どもが安心して過ごせる場として、重要な役割を担っている。しかし、費用は月3万円以上と高額で、利用率は約7%にとどまっている。また、不登校の子ども達のうち、約4割は居場所や相談機関につながっておらず、支援も課題となっている。フリースクールや居場所につなげるために教育委員会等と連携して必要な支援の把握を行い、経済的支援の必要性等を含め、検討していく。



学校と地域の学び
応援サイト「キミイロ」

◀県教育委員会子ども教育支援課と特定非営利活動法人 鎌倉あそび基地が協働事業によりウェブサイトを作成しました。不登校や学びの場等に関する情報を提供しています。

難聴の早期発見と聴覚のフレイル対策

聴こえにくさを放置すると難聴が進み、会話の減少により社会的孤立を招き、認知機能が低下するおそれがあります。そこで、高齢者のQOL（生活の質）の向上と認知症予防の観点から、難聴の早期発見と聴覚のフレイル対策への取り組みを知事に質問しました。

知事答弁 高齢者の難聴は、生活の質の低下や「うつ」、認知症のリスクを高めるため、早期の受診と補聴器等の対策が重要である。しかし、加齢性難聴は進行が緩やかなため、気づかない場合も多い。そこで、本人や家族に、加齢による難聴が多いことや、医療機関の早期受診の重要性を、様々な機会に周知していく。また、アプリでの聴覚のセルフチェックの取り組みを、健康情報・相談拠点の未病センターに働きかける等、市町村や民間企業と連携し、聴覚のフレイル対策にしっかりと取り組む。

ヒアリングフレイルって何？

耳の虚弱（聞き取る機能の衰え）という意味です。聞こえにくさから人とのつながりが少なくなり、フレイルや認知症の原因になります。

下の症状で気になることはありませんか？

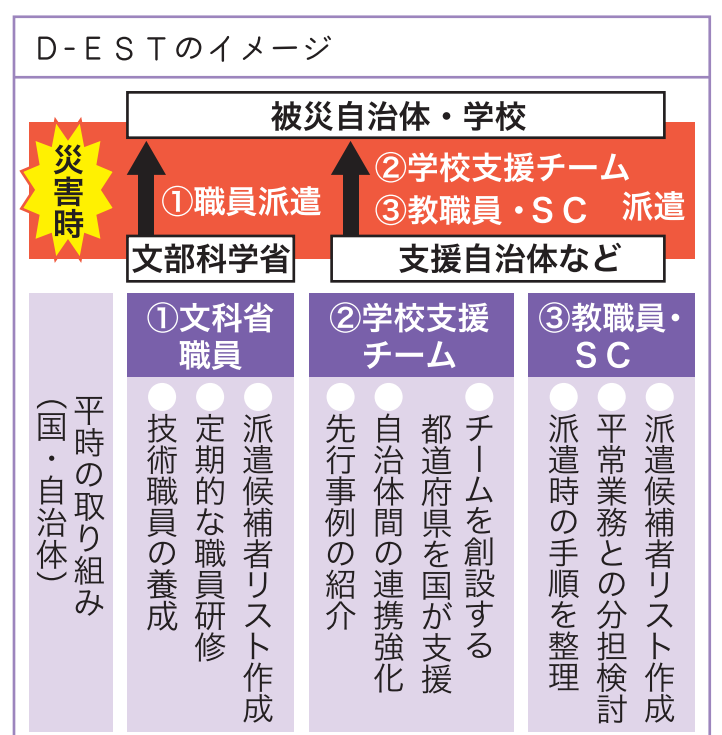
- ☐ 家族にテレビなどの音量が大きいと言われる
- ☐ うまく聞き取れず聞こえたふりをすることがある
- ☐ 複数人での会話がうまく聞き取れない
- ☐ 話し声が大きいと言われる
- ☐ 会話をしている時に聞き返すことが増えた



大規模災害における学校支援

能登半島地震の課題を踏まえ、国が検討を進める「被災地学び支援派遣等枠組み」通称「D-E-S-T」は、被災地への学校支援チームや教職員等の派遣を想定しています。なかでも学校支援チームは、避難生活中的学習支援、心のケアや教育活動の再開支援等、学びの継続や学校の早期再開に向けた重要な役割を担っています。現在は兵庫県等被災経験のある5県に設置されていますが、今後の大規模災害に備え、本県においても学校支援チームの設置を進める必要があると考え、教育長に質問しました。

教育長答弁 学校支援チームは、県外だけでなく、県内で災害が発生した際にも、その地域の学校再開に向けた有効な体制となる。今後、国の検討結果を見定めながら、先行自治体の取り組みを情報収集し、設置について適切に判断していく。



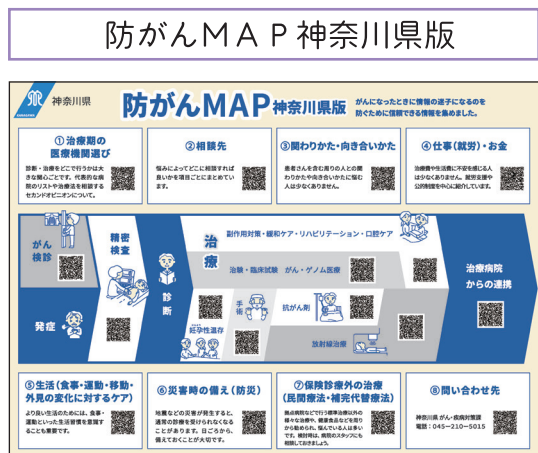
がん治療における県内拠点病院の連携

神奈川県内には、県立がんセンター等33の拠点病院等がありますが、がん患者一人ひとりが最適な治療を受けられるよう、提供できる治療法等の情報提供をさらに進め、互いの強みを共有する「つなぐ体制」を強化していくべきと考え、知事の所見を求めました。

知事答弁 県内の拠点病院等の最新の治療法の情報を集約し、患者や医療関係者への分かりやすい提供や、他の病院に「効果的につなぐ」取り組みについて、専門家や患者団体の意見を伺い、連携強化に取り組む。



防がんMAP
神奈川県版



心の声の見える化で安心の障がい者福祉

障がい者の心の声を、脳科学等の知見やA I、センサー技術等を活用して見える化することや、支援現場の職員が安心して心の声を発信し、県や管理者が共有できる仕組みが必要と提言しました。

知事答弁 まずはA Iを活用した人の行動分析等の事例の収集から始める。現場の職員への対応は、W e b上の掲示板を設置し、心の声の見える化を進め、職場内のコミュニケーションを活性化させ、達成感、モチベーションの向上につなげていく。



掲載されました！

おだ幸子の活動報告が掲載されました。
右のQRコードからご覧いただけます。

湘南える新聞9月28日号



乳がん・子宮がんの患者さんご家族向けに 女性臨床心理士による相談を実施しています

乳がんや子宮がんの治療の過程で、乳房切除や子宮摘出といった治療を受ける場合、大きな喪失感を感じる方が少なくありません。私も自分自身の乳がん手術の際に、とても複雑な思いになったことを思い出します。

神奈川県では、乳がん・子宮がんの女性患者の方とご家族を対象に、心の問題を専門とする女性臨床心理士による相談を実施しています。

専門家に相談いただくことによって、がん患者の方やご家族の心理的負担を減らし、治療や日常生活に前向きに取り組んでいただくことを目指しています。

一人で悩まずにぜひ活用していただければと思います。相談は1回1時間30分、お一人につき3回までの相談が無料です。希望される方は、がん診療連携拠点病院やがん診療連携指定病院の「がん相談支援センター」にお申し込みください。

がん診療連携拠点病院および
がん診療連携指定病院の
「がん相談支援センター」



<https://s-eljp/a3/13>

また、神奈川県のホームページには、必要ときに正しい情報入手できるツール「防がんMAP 神奈川県版」が公開されています。あふれる情報で迷子になる人を一人でも減らしたいという思いから、医療関係者はじめ、がんを経験された方たちが作成されました。さまざまな角度で知りたい情報がコンパクトにまとめられていますので、ぜひ参考にいただければと思います。

がん患者の方やご家族が、必要に応じて適切な支援を受けられるよう、今後もがんとうき合い、支えあうことができる社会を目指して取り組んでまいります。

防がんMAP 神奈川県版



<https://s-eljp/a3/14>



神奈川県議会議員

おだ 幸子さん

プロフィール
藤沢市辻堂東海岸在住
明治大学政治経済学部・日本工業大学専門職大学院卒業
2014年乳がんの手術を受ける。働きながら再発防止のホルモン療法を5年間続け、その間、副作用に悩みながらも中小企業診断士の資格に挑戦し合格。専門職大学院の客員教授も務めた。現在は寛解。
2023年4月神奈川県議会議員選挙初当選
家族は夫と大学生の息子

【所属委員会など】
・議会運営委員会
・産業労働常任委員会
・共生社会特別委員会
・予算委員会
・公明党神奈川県議会議員団 政務調査副会長

ご意見ください

【連絡先】
神奈川県議会公明党控室
TEL 045-210-7630
HP・SNS <https://lit.link/odasatiko>

HP・SNSは
こちらから



<https://s-eljp/k/os>

photo
news



地域のお祭りに参加



藤沢駅頭で市民の皆様へご挨拶



若者との意見交換会



黒岩知事への政策予算要望



県民の皆様の声の形にするため、神奈川県議会議員同士で連携をとり調査研究を積み重ねています。

大切なお知らせ（公明党神奈川県議団の実績から）

神奈川県全域で **#7119** が
利用できるようになりました！



#7119とは…

急な病気やケガをした時、「救急車を呼んだほうがいいのか」「今すぐ病院に行ったほうがいいのか」などで迷った際に、電話でアドバイスを受けることができます。

24時間・年中無休で、看護師や相談員が「救急医療相談」「医療機関案内」に対応します。

※聴覚に障がいをお持ちの方は、FAX 045-242-3808 をご利用ください。

公明党神奈川県議団が、8年にわたり県に働きかけ実現しました！

ご利用方法

#7119 へ電話する。

直通ダイヤルの場合は

045-232-7119 又は **045-523-7119**

自動音声案内にしたがって、

1 救急医療相談

2 医療機関案内 を選択する。

緊急時は迷わず119番へご連絡ください。

中小企業を応援します！

「災害対応融資」がお役に立ちました！

今年6月に公明党が代表質問で提案した「災害対応融資」が、9月1日防災の日からスタートしました。大規模災害に限らず様々な災害において、中小企業者が被害を受けた際すぐに融資を利用することが可能になりました！

令和6年台風10号の被害に関するご請求もあり、早速お役に立っています！



災害対応融資

神奈川県 被害を受けた中小企業者の皆さまへ

速やかな事業再建を、神奈川県が後押しします

災害対応融資

《令和6年台風第10号に伴う被害等にもご利用いただけます》

県では、様々な災害で被害を受けた皆さまにご利用いただける融資をご用意しています。ぜひお役立ていただき、1日も早い復興をお祈りいたします。

中小企業制度融資のご案内

融資の特徴

- 1 大規模災害に限らず、様々な災害において即座に融資利用が可能
- 2 一般種においては、り災届出証明書等で融資申込みが可能
- 3 最大8億4,000万円まで利用可能

通常の利用可能種(融資限度額)	国の政策による特別種(融資限度額)
《一般種》 最大2億8,000万円	《別種》 最大2億8,000万円
	《激甚災害種》 最大2億8,000万円

県営団地の共益費を県が徴収できるようになりました！

神奈川県では、2025年度から県営団地内の共用部分にかかる共益費（電気代や水道代等）について、自治会の負担を軽減するため県が徴収を代行する制度を始めます。

この制度は、入居者の高齢化に伴い、自治会による集金は管理が大変との声を受け、公明党県議団が長年粘り強く提案して実現しました。

※利用を申請した団地が対象です。



県が徴収する共益費の範囲

団地の共用部分の 電気・ガス・水道料金

団地の共用部分…住棟の階段や廊下の照明、エレベーター、散水用の水道、集会場の電気・水道・ガス等

※草刈り、中低木の剪定、落ち葉や排水管の清掃、共用部の外灯や階段灯の電球購入および交換等は、引き続き自治会が徴収および管理。